

復興支援活動の記録

- ・鍼灸マッサージボランティア
- ・平成24年7月15日・16日 宮城県牡鹿郡女川町
- ・報告者 陽だまり‘はり・きゅう’治療室 中野朋儀



・平成24年7月15日(日) 宮城県牡鹿郡女川町



お部屋へお伺いして施術を行った。(施術者1名)



食堂・リビングルームの一部をお借りして施術を行った。(施術者3名)

平成24年7月15日(日)

・活動場所:

認知症高齢者グループホーム

(入居者:15名)

・活動時間:9:30~14:30

・活動人数:4名

・施術者数:新患16名

(施設職員4名)

(入居者ご家族1名)

・入居者平均年齢:87歳

(最高齢:99歳)



お昼ご飯をいただきました。

(季節の天ぷらとおそば)



15日(日曜日)の晩にお世話になった海泉閣(旅館)です。



海泉閣(牡鹿半島)から女川湾を望む。



16日(月曜日)朝、海泉閣から女川湾を望む。



ここから左道路は関係者しか通れません。



野生の鹿(群れ)に遭遇
(牡鹿半島だけに・・・シカ・しか・鹿です)



国指定の重要文化財
「十一面観音」へお詣りです。
(給分浜の観音堂)

三陸リアス式海岸の南端に
あたる牡鹿半島の宮城県
石巻市給分浜地区(漁港)

・平成24年7月16日(月) 宮城県牡鹿郡女川町出島

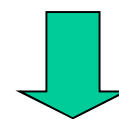


女川港出発

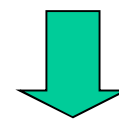
シーパル女川汽船「しまなぎ」

離島航路運行時間

女川港7:45分発



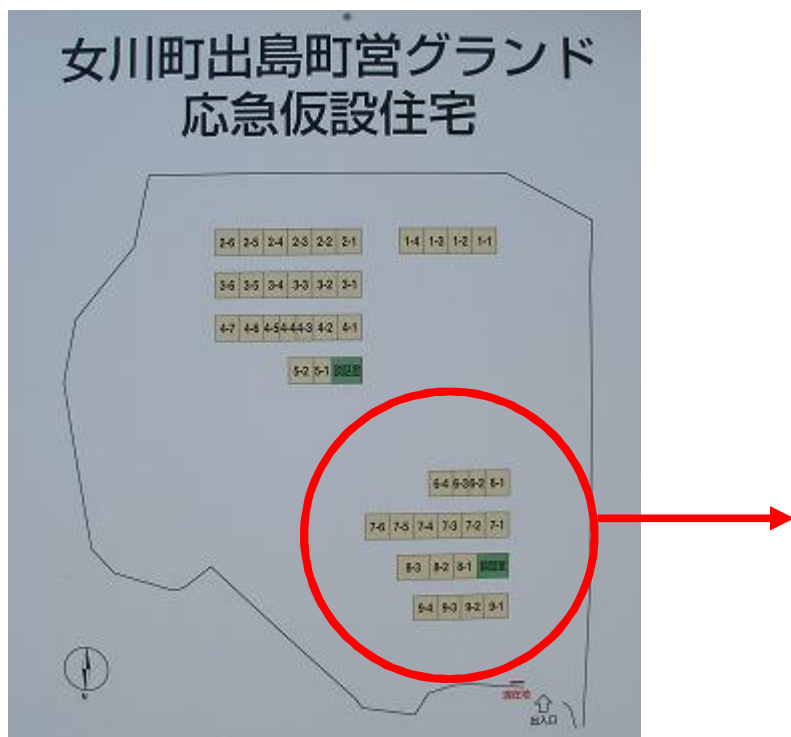
江島港(経由)



寺間港8:35分着



寺間港到着



寺間地区談話室

悲しい話・・・

施術を受けている漁師さんが、一部の地域(西日本)で魚を買って貰えないんだよ。(風評被害により・・・)

「糸は半分しか繋がらないよ・・・絆は糸が半分と書くだろ・・・」

なにも返す言葉がありません・・・でした・・・

出島町営グラウンド内



出島地区仮設住宅

寺間地区仮設住宅



出島地区
仮設住宅

寺間地区
仮設住宅



寺間仮設のお宅の玄関前
に飾ってありました。



島のお母ちゃんから取れたてのホタテ（お刺身）、胡瓜の浅漬け（自家栽培）、切り干し大煮物をいただきました。ホタテプリプリで最高に美味しかったです。



区長さんから取れたてのウニをいただきました。まだ動いているほど新鮮で、味も香りも今まで味わったことがないほどの超美味でした。美味しくて感激です！！！！。



(山腹辺り)

- ・左の道を少し下ったところに
仮設住宅があります。
- ・小鳥のさえずり・・・
- ・風の音・・・
- ・潮の香り・・・



- ・区長さんが港まで送り迎えしてくれました。
マイクロバスと聞いていましたが・・・
軽トラックの荷台に載り出発です。
まさに、「ワイルドだろお～？」
気分はスタンバイミーかな！？



再び「しまなぎ」乗船です。
区長さん渋いです…



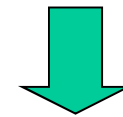
帰りは、出島港からです。

棧橋は1メートル位地盤沈下したため応急工事されていた。

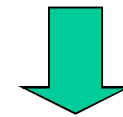
シーパル女川汽船「しまなぎ」

離島航路運行時間

出島港15:30分発



江島港(経由)



女川港16:35分着

平成24年7月16日(月)

・活動場所:

女川町出島町営グラウンド応急仮設住宅

・仮設住宅42戸(30戸入居)

(出島地区:25戸 寺間地区:17戸)

・活動時間:9:00~14:30

・活動人数:4名

・施術者数:新患18名

(支援センター職員1名)